

## がん検診の受診促進に向けた取組について

### 1 道内の状況

- ・ 道内のがん検診の受診率は全国平均よりも低い状況 ※参考資料 1
- ・ コロナ渦でさらに受診率が低下している。 ※参考資料 2
- ・ 75歳未満の年齢調整死亡率は、全国的にも高い状況 ※参考資料 3

### 2 今年度の主な取組状況

- (1) 市町村、患者団体、関係機関等と連携した受診率向上に向けた取組
  - ・ がん予防道民大会の開催（3年ぶりの開催）
  - ・ 市町村における未受診者対策の情報共有 ※参考資料 4
  - ・ 患者団体と連携したイベントの開催
- (2) 民間企業等と連携した受診率向上に向けた取組
  - ・ がん対策サポート企業（現在約600社）に対し、社員やその家族等への検診受診に対する働きかけの実施
  - ・ 連携協定企業と連携したがん予防セミナーの開催や啓発動画の作成、顧客へのリーフレットの配布等による普及啓発
- (3) 若い世代に向けた発信
  - ・ がん予防道民大会への高校生の参加（静内高校 1年生約200名参加）
  - ・ がん教育に携わる教員研修会への参画（外部講師の活用、翌年度カリキュラムへの反映など意見交換）

### 3 今後の新たな取組（案）について

- (1) 市町村支援の強化

がん検診の実施主体である市町村の個別勧奨や再勧奨がしやすい体制となるよう支援を強化

  - ・ 市町村の保健業務システム間の連携による業務の効率化の推進
  - ・ 特定健診の受診促進と併せて、既存のデータベースを活用し、地域に応じた支援体制の構築 などを検討
- (2) 道民の健康意識を高める取組

I C Tを活用した健康づくり事業の実施

  - ・ 全道どこでも同じサービスを提供するツールの開発
  - ・ 年齢を重点化した取組の推進 などを検討